令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

（ 珠洲市 ）立（ 宝立小中 ）学校

GIGA校内研修推進リーダー（ 野口 幹太 ）

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
・ふるさと珠洲科学習発表会において，全ての学年が発達段階に応じてICT機器の使い方を工夫し，発表を行うことができた。 ・ICT機器を用いた成果発表の場として，既存の行事を活用することで，教員の負担をあまり増やすことなく，実践に取り組むことができた。 ・「若手教員による「GIGA校内研修」」を実施することにより，操作方法やアプリの使い方についての質問を誰に行うとよいかが明確になり，ICT機器を効果的に使用できる教員が増加した。 ・自校の実践例の共有だけでなく，他校の実践例を動画視聴により共有することができた。	・学校全体での成果物を共有の簡略化について学び，成果物を蓄積する方法を確立する必要がある。 ・chromebookの使用のルールについて，準備が不十分であり，トラブルが起きてから対処することが多かった。

校内研修のアイディア

・各ブロックの到達目標を設定し，各ブロックで実践案を出し合う。
・毎月ブロック長会議を設けて、各ブロックの実践や進捗状況を共有する。
・総合的な学習の時間（ふるさと珠洲科）の探究学習に効果的に活用する。また，この活用を基軸として，共通実践を図り，各教科に広げる。
・校内研修や，OJTを活用した実践共有（成功と失敗の経験）を行う。
・研究授業の際は，ICT機器の積極的な活用を呼びかける。
・ICTが苦手な教員に対しては，個別に端末の操作方法を教える機会をもつ。（年間を通して随時）
・各学年の発達段階に応じた目標を作成し，全職員で共有する。
・活用実践例の作成者と時期を指定する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

◆教師の目指す姿
・全ての教員が，実践事例をもとに，児童生徒がICTを効果的に活用して，学習や活動に取り組む機会を計画的に設けている。
◆各ブロックの目指す姿
・前期ブロック：キーボードを使って文字を入力し，自分の考えを文章にまとめることができる。
・中期ブロック：写真や絵と文字を組み合わせてプレゼンテーションのスライドを作成し，調べたことや考えたことを発表することができる。
・後期ブロック：課題や目的に応じて，これまで学んだ情報手段を適切に活用して，発信（発表）内容の評価や改善ができる。

月	研修テーマ［研修形態］	担当	関連する行事等
4月	ブロック長会議〔ブロックリーダー〕	ブロックリーダー	
5月	みつけウィーク（授業を相互に参観する）〔個人〕 ブロック長会議〔ブロックリーダー〕	研究 ブロックリーダー	
6月	ICT活用実践例の共有〔全体〕 ブロック長会議〔ブロックリーダー〕 情報モラルについて〔全体〕	推進リーダー ブロックリーダー 推進リーダー	
7月	ICT活用実践例の共有〔全体〕 ブロック長会議〔ブロックリーダー〕	推進リーダー ブロックリーダー	
中間目標	・前期ブロック：単語を打ち込み，目的のwebページを検索できる。 ・中期ブロック：インターネットには不適切な情報や有害な情報があることを知り，安全で正しい対処ができる。 ・後期ブロック：情報を活用することの意義を理解し，積極的に情報共有をはかることができる。		
8月	ICT活用実践例の共有〔全体〕 ブロック長会議〔ブロックリーダー〕 著作権について〔全体〕	推進リーダー ブロックリーダー 推進リーダー	
9月	みつけウィーク（授業を相互に参観する）〔個人〕 ブロック長会議〔ブロックリーダー〕	研究 ブロックリーダー	
10月	ICT活用実践例の共有〔全体〕 ブロック長会議〔ブロックリーダー〕	推進リーダー ブロックリーダー	
11月	ICT活用実践例の共有〔全体〕 ブロック長会議〔ブロックリーダー〕	推進リーダー ブロックリーダー	
12月	ICT活用実践例の共有〔全体〕 「ふるさと珠洲科発表会」に向けて〔ブロック〕 ブロック長会議〔ブロックリーダー〕	推進リーダー ブロックリーダー ブロックリーダー	
中間目標	・教師：ICT機器を効果的に使用することができる。 ・前期ブロック：紙に書かれた文章をキーボードを用いて打ち込むことができる。 ・中期ブロック：写真や絵と文字を組み合わせてスライドを作成し，自分の考えを発表することができる。 ・後期ブロック：情報機器で収集した情報を選択・評価・編集し，報告や発表に利用できる。		
1月	みつけウィーク（授業を相互に参観する）〔個人〕 ブロック長会議〔ブロックリーダー〕	研究 ブロックリーダー	ふるさと珠洲科学習発表会
2月	実践のふり返りと来年度に向けて〔ブロック〕 ブロック長会議〔ブロックリーダー〕	ブロックリーダー ブロックリーダー	
3月	ICT活用実践例の共有〔全体〕 ブロック長会議〔ブロックリーダー〕	推進リーダー ブロックリーダー	

学年別の到達目標

	学年	各ブロックの目標	中間①	中間②	ゴール
前期ブロック	１年生	キーボードを使って文字を入力し，自分の考えを文章にまとめることができる。	１人でchromebookにパスワードを打ち込みログインすることができる。	教師の指示通りにタッチパネルでアプリを選択することができる。	カメラアプリを開き，撮影までを１人で行うことができる。
	２年生		タッチパッドを用いてアプリを選択することができる。	タッチパネルを用いて，文字を書き入れることができる。	撮影した写真や，書き込んだ文字をもとに自分の考えを発表することができる。
	３年生		chromebookの電源onとoffを１人で行うことができる。	ローマ字表を見ながら，簡単な単語をキーボードで打ち込むことができる。	ローマ字表を見ながら，短い文を打ち込むことができる。
	４年生		単語を打ち込み，目的のwebページを検索できる。	紙に書かれた文章をキーボードを用いて打ち込むことができる。	自分の考えをキーボードで打ち込み，文章にまとめることができる。

中期ブロック	５年生	写真や絵と文字を組み合わせてプレゼンテーションのスライドを作成し，調べたことや考えたことを発表することができる。	インターネット上の画像をコピーして，貼り付けることができる。	複数個のキーワードを組み合わせて，目的のwebページを検索することができる。	文字と画像を組み合わせて，調べたことを１枚のスライドにまとめることができる。
	６年生		収集した情報を比較したり，分類したり，関連づけたりして情報の整理を行うことができる。	自分たちの身の回りにも情報通信技術が活用されていることを知り，生活に役立っていることを理解することができる。	写真や絵と文字を組み合わせて，調べたことを複数枚のスライドにまとめて発表することができる。
	７年生		インターネットには不適切な情報や有害な情報があることを知り，安全で正しい対処ができる。	写真や絵と文字を組み合わせてスライドを作成し，自分の考えを発表することができる。	写真や文字の大きさ，色などを工夫し，自分の考えをわかりやすく伝えることができる。

後期ブロック	８年生	課題や目的に応じて，これまで学んだ情報手段を適切に活用して，発信（発表）内容の評価や改善ができる。	情報通信ネットワーク利用上の基本的なルールや法律を遵守し，著作権や知的財産権を尊重することができる。	信憑性を確かめる方法を知り，いくつかの方法で自分の扱う情報の信憑性を確かめることができる。	情報を伝えるメディアの特性や，発信者から受信者までの情報伝達の過程を理解し，それを元に情報の真偽や質を吟味できる。
	９年生		情報を活用することの意義を理解し，積極的に情報共有をはかることができる。	情報機器で収集した情報を選択・評価・編集し，報告や発表に利用できる。	課題や目的に応じて，これまで学んで情報手段を適切に活用して，発信（発表）内容の評価や改善ができる。

珠洲市立 緑丘中

ＧＩＧＡスクール構想の目的

※ＧＩＧＡ（Global and Innovation Gateway for All）

○　１人１台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する

○　これまでの我が国の教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、教師・生徒の力を最大限に引き出す

令和４年度末にめざす姿

○　生徒が学習活動で学習用パソコンを活用している
・個人思考、集団思考（協働学習・対話的な学び）で活用している
・自分の考えを表現する場面で活用している

○　教師が学習活動で学習用パソコンを活用するための指導・支援をしている
・生徒の思考活動のために効果的で適切な指導・支援をしている
・生徒の表現活動のために適切な指導・支援をしている

校内研修　**全教職員**　**授業実践**

組織体制

○　管理職による指導助言

○　校内研修推進リーダーによる校内研修の充実・推進

○　校内研修の持ち方
・全体での校内研修
（GIGA サポート研修）
・若プロでの研修
・教員相互の授業参観
・短時間でのアドバイス
・ＩＣＴ支援員の活用など

年間計画

○　令和４年度にめざす姿を実現するための具体的な研修内容の計画と実施（いつ・誰が・どのような研修内容を行うのか）
→GIGA サポート研修の活用

○　校内研修推進リーダー研修及び新たな授業づくり研修を生かした研修の実施

○　学期末での点検・評価による研修計画の修正

令和３年度の現状

＜成果＞・校内研修や若プロ、日常の情報交換等を通して授業での端末の利用を促進することができた。
・授業での個人思考の場面や集団思考の場面において端末を活用したり、自己評価（振り返り）にも活用することができた。
・生徒の活用スキルが向上し、生徒会活動での効果的な端末の活用が行われた。

＜課題＞・生徒の学びの評価する際に、ノートの活用と端末の活用のバンラス（ベストミックス）を工夫する必要がある。

令和４年度　GIGA校内研修　年間計画

（珠洲市）立（緑丘中）学校

GIGA校内研修推進リーダー（教諭　牧　宜伸・濱野　晃丞）

月	研修テーマ［研修形態］	担当	関連する行事等
4月	校内端末利活用のルールについて		入学式 学力調査
5月	校内研修 GIGAスクール構想の理解	校長・教頭	指導主事訪問
6月	校内研修 授業実践のヒント	GIGA担当	
7月	校内研修 実践交流・アンケート機能の活用	GIGA担当	
中間目標	全員が一人一台端末を活用した授業を行いうまくいった点とうまくいかなかった点を報告する。		
8月	校内研修・若プロ Google for Education の活用について	GIGA担当 若プロ担当	夏季休業
9月	校内研修・若プロ 共通実践，実践共有	GIGA担当 若プロ担当	体育祭 修学旅行
10月	校内研修 互見ウィークの活用	GIGA担当	金銭教育 指導主事訪問 文化祭
11月	授業実践	各自	学校公開
12月			冬季休業
中間目標	y		
1月	校内研修・若プロ 共通実践，実践の共有		
2月	校内研修・若プロ 共通実践，実践の共有		
3月			卒業式

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

（珠洲市）立（三崎中）学校

GIGA校内研修推進リーダー（中村 理久）

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
・校内研修をすることで、全職員がClass roomを各教科で作成し、授業で活用することができた。 ・校内研修により、jamboardやチエルの使い方について学習することができた。 ・保護者にGIGAスクール構想について説明と端末の操作を体験してもらうことで、共通理解をもつことができた。	・知る・使う・慣れる から 授業実践で考えを深めるための活用方法の研修ができなかった。 ・リモートで授業をするための研修が充分にできなかった。 ・実践の交流はできたが、自分の教科でどのような活用をすればよいか、イメージできるような研修ができなかった。 ・個別最適化された学びのための研修があまりできなかった。

校内研修のアイディア

・各教科におけるICTの活用例を共有する機会をつくり、よさや失敗例を共有し，自分の授業でどのように実践に生かせるのか、イメージできる機会を持つ。
・効率的で効果的な協働学習のためのアプリケーションの共有をする機会を持つ。
・教科を超えて生徒の思考を深めるツールとしての活用について学ぶことができる機会をもつ。
・Meetを使っての会議を企画し、学年や行事などについて話し合うことで、効果的な会議ができるようにする。
・授業から家庭学習までの連続した学びが可能になるような授業改善について研修を行う。
・家庭学習や授業，行事（よさこい）で生徒が個別に学べる（繰り返し学習できる・自分のペースで学習できる）端末の活用方法について研修する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

①全生徒が、様々なアプリケーションをツールとした協働学習を行うことで、自分とは違う見方・考え方に気づき、学びを深めることができる。
②全職員が計画的に協働編集機能を活用し、生徒同士が協働して、レポート・スライド資料・作品を製作する学習活動を充実させることができる。
③全職員と全生徒が休校等の学力保障のためのリモート授業や授業における他校・他地域との交流に対応することができる。
④全職員が自分の教科や活動場面に合った個別に学べる活用方法を1つ以上実践することができる。

月	研修テーマ［研修形態］	担当	関連する行事等
4月	【個人研修】ステージ3動画視聴（年間を通して視聴する） 【個人研修】ICT活用授業動画（スマートスクールネット）視聴（年間を通して視聴する）	推進リーダー 推進リーター	4/25 GIGA校内研修推進リーダー研修「1人1台端末～活用時期における目指すべき方向性」講話
5月	【全体研修】昨年度の成果と課題の確認 （授業の中でのICTの活用場面について）GIGA校内研修に関する年間計画の確認 【個人研修】授業を相互参観（ICT機器の活用の様子を確認）	推進リーダー サブリーダー	5/17 GIGA校内研修推進リーダー研修「児童生徒の情報モラルの育成」講話 ※年間計画持参
6月	【全体研修】公開授業（6月8日） 【全体研修】「情報モラルの育成」に関する研修	推進リーダー サブリーダー	指導主事訪問A（6月8日）
7月	【個人研修】ステージ3動画視聴で学んだことを生かした授業実践 【個人研修】1人1台端末活用の実践報告の準備 【全体研修】生徒が個別に学ぶことができる活用についての研修	推進リーダー サブリーダー	
中間目標	・GIGA年間計画を全職員が共通理解し、研修や実践に取り組む。 ・情報モラルに関する研修を実践や演習を通して、理解を深める。 ・研修を通じて学んだことを生かし，授業実践につなげる。		
8月	【全体研修】各教科におけるICTの活用例の共有 リモート授業において必要な準備の確認 Meetを使用した教職員によるリモート会議の実施	推進リーダー サブリーダー	
9月	【全体研修】公開授業（9月12日） 【個人研修】ICT活用授業動画（スマートスクールネット）で学んだことを生かした授業実践	推進リーダー	9/14 GIGA校内研修推進リーダー研修 グループ協議・講義 指導主事訪問B（9月12日）
10月	【全体研修】GIGA校内研修推進リーダー研修を受けての報告 【個人研修】 授業を相互参観	推進リーダー サブリーダー	
11月	【個人研修】1人1台端末活用の実践報告の準備	推進リーダー	
12月	【個人研修】授業を相互に参観する。 【全体研修】各教科におけるICTの活用例の共有 端末アプリの効果的な使い方の交流	サブリーダー 推進リーダー	
中間目標	・各教科におけるICTの活用例を共有する機会をつくり、よさや失敗例を共有して自らの実践に生かす。 ・共同編集機能を利用した効率的で効果的な協働学習の実践や、教科を超えて授業づくりについて考えを共有する。 ・リモート授業に対応できるようにアプリケーションや教材の準備をしておく。		
1月	【個人研修】 端末アプリケーションを活用した授業実践	推進リーダー	
2月	【全体研修】公開授業 【個人研修】授業を相互に参観する	サブリーダー	指導主事訪問C（2月17日） 2/24 実践報告締め切り
3月	【全体研修】振り返りと来年度に向けて	推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

（ 珠洲市 ）立（大谷小中 ）学校

GIGA校内研修推進リーダー（ 高堂 真由美 大門 正幸 ）

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
〈教員の姿〉 ●各教科の授業にとどまらず、各種行事の担当者が積極的にChromebookを教育活動に組み込んだことで、児童生徒と職員が共に使いながら操作方法を習得できた。 <児童生徒の姿> ●何か気になることがあれば調べたり、今まで手書きで作成していた原稿をデータとして作成したり、自発的にChromebookを使っていこうという雰囲気になっている。	<教員の姿> ▲教員の中でChromebookの活用状況に差がある。使うことが目的ではないが、授業に取り入れ、トライ&エラーを繰り返しながら、効果的な活用方法を探るという点では課題が残る。 ▲研修時間をなかなか確保できず。当初予定していた研修計画通りに進めることができなかった。 <児童生徒の姿> ▲タイピング練習を日常的に位置づけていなかったため、Chromebookを使って意見交流をするとどうしても時間がかかる。また、ローマ字を未習の前期課程の児童に対しては手書き入力や音声入力の指導を行ったが同様に時間がかかる。

校内研修のアイディア

テーマ〈研修時間を確保し、短時間で教師の端末活用状況に応じた新たな発見がある校内研修にする。〉

〇研修時間
・月1回水曜日の朝、研修報告の時間（8:10～8:25）を利用する。
※若プロ担当者と相談して日程を決める。
〇研修形態
・少人数のため全体研修で行う。しかし、教師の端末活用状況に応じたねらいを達成できるようにする。
【端末の活用に長けた教師】 … 効果的な活用方法を理解する。
【端末をあまり活用していない教師】 … 活用場面や活用方法を理解する。
〇内容
・学習会 … 基本的なアプリの使用方法や効果的な活用方法について、実際に端末を操作しながら学ぶ。
※各学期末にニーズアンケートを取り、学習会の内容を検討する。
・実践報告会 … 学習会を受けて実践した中で上手くいったことや失敗談を共有する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

〈教員の姿〉
●全教師が各教科で、効果的にchromebookを活用した学習活動を取り入れ、授業することができる。
→classroomなどのアプリの活用場面、活用方法を理解し、目的に応じて、使用することができる。

<児童生徒の姿>
【前期課程】
●chromebookへの文字入力方法を習得し、不便に感じることなく考えを入力し、意見交換することができる。

【後期課程】
●各教科の授業内で使用するジャムボードなどのアプリを教諭の手助けなしで操作し、活用することができる。
●委員会活動や各行事で自身で効果的にアプリを使用する方法を考え、活用し、活動することができる。
●meetやzoomなどのアプリの使用方法を理解し、目的に応じて活用することができる。

月	研修テーマ［研修形態］	担当	関連する行事等
4月	・GIGA校内研修計画の作成 ・classroomの作成方法について［職員会で確認］	リーダー リーダー	・第1回リーダー研4/25 ・第1回活用力アンケート
5月	・classroomアプリの使用方法について［学習会］	リーダー	・第2回リーダー研
6月	・jamboardアプリの活用方法について［学習会］	リーダー	
7月	・classroom、jamboardアプリの活用について［実践報告会］	前期課程教諭 後期課程教諭 ※1名ずつ	・第2回活用力アンケート
中間目標	【端末をあまり活用していない教師】 classroomアプリの使用方法について理解し、活用しやすいjamboardアプリを授業で一度は実践することができる。 【端末の活用に長けた教師】 jamboardアプリの効果的な活用方法を理解し、授業で実践することができる。		
8月	・1学期のchromebook活用について 2学期ニーズアンケート［学習会］		
9月	・スライドアプリの活用方法について［学習会］		・運動会 ・第3回リーダー研
10月	・ドキュメントアプリの活用方法について［学習会］		
11月	・スライド、ドキュメント、アプリの活用について［実践報告会］	前期課程教諭 後期課程教諭 ※1名ずつ	・文化祭
12月	・2学期のchromebook活用について 3学期ニーズアンケート［学習会］		・第3回活用力アンケート
中間目標	【端末をあまり活用していない教師】 スライド、ドキュメントアプリの使用方法について理解し、アプリを授業や行事における活動で一度は活用することができる。 【端末の活用に長けた教師】 スライド、ドキュメントアプリの効果的な活用方法を理解し、授業や行事における活動で効果的に活用することができる。		
1月	・スプレッドシートアプリの活用方法について［学習会］		
2月	・meetアプリの活用方法について［学習会］		・第4回活用力アンケート ・実践報告〆2/24
3月	・1年間を振り返って 来年度ニーズアンケート［学習会］		